

8月16日

テーマ：「<sup>あわ</sup>憐れみ<sup>ふか</sup>深い者は<sup>もの</sup>幸いです<sup>さいわ</sup>」

聖書箇所：<sup>ふくいんしょ</sup>マタイの福音書<sup>しょう</sup>5章<sup>せつ</sup>7節

◆今日のみことば

<sup>あわ</sup>憐れみ<sup>ふか</sup>深い者は<sup>もの</sup>幸いです<sup>さいわ</sup>。その人<sup>ひと</sup>たちはあわれみ<sup>う</sup>を受けるから。マタイの福音書<sup>ふくいんしょ</sup>5章<sup>しょう</sup>7節<sup>せつ</sup>

◆メッセージ

あなたは「あわれみ」って聞いたことがありますか？「あわれみ」は、<sup>かみ</sup>神さまがあなたのことを<sup>だいす</sup>大好きですよ、<sup>あい</sup>愛していますよ、ということ<sup>つた</sup>を伝える<sup>ことば</sup>言葉の一つです。

ある日、私の家の木にあった小鳥の巣からヒナが下に落ちていました。苦しそうで弱<sup>よわ</sup>っていて、このままでは死<sup>し</sup>んでしまうと心配<sup>しんぱい</sup>しました。ヒナのお母<sup>お</sup>さんは近くでさかんに鳴<sup>な</sup>いています。かわい<sup>なん</sup>いそう<sup>たす</sup>で、何とかして助<sup>たす</sup>けてあげたい、すく<sup>すく</sup>ってあげたいと私<sup>わたし</sup>は祈<sup>いの</sup>って、落<sup>お</sup>ちたヒナをそつと<sup>す</sup>巣<sup>す</sup>に返<sup>かえ</sup>してあげました。こんな気持ち<sup>きもち</sup>が「あわれみ」です。

イエスさまは、私たち人間<sup>にんげん</sup>が罪<sup>つみ</sup>で苦し<sup>くる</sup>んでいるのをかわい<sup>おも</sup>いそうに思<sup>おも</sup>い、あわれんで、十字架<sup>じゅうじか</sup>にかか<sup>か</sup>って私<sup>わたし</sup>たちの罪<sup>つみ</sup>の身代わり<sup>みがわり</sup>に死<sup>し</sup>んでくださいました。イエスさまは、病<sup>びょうき</sup>気<sup>ひと</sup>の人<sup>ひと</sup>たち、仲<sup>なか</sup>間は<sup>はず</sup>れにされて<sup>た</sup>人<sup>ひと</sup>たち、罪<sup>つみ</sup>の中<sup>なか</sup>で苦し<sup>くる</sup>んでいた人<sup>ひと</sup>たちを助<sup>たす</sup>けてくださいました。これが「あわれみ」です。

イエスさまは、私たちに「あわれみ」をくださいました。そして、私たちにその「あわれみ」をひとりじめしないで、ほかの人<sup>ひと</sup>にも分<sup>わ</sup>けてあげなさいとおっしゃっています。神さまの「あわれみ」を受<sup>う</sup>けた人<sup>ひと</sup>は、ほかの人<sup>ひと</sup>に「あわれみ」を<sup>あた</sup>えます。そして、「あわれみ」を<sup>あた</sup>えた人<sup>ひと</sup>は、ほかの人<sup>ひと</sup>からも神<sup>かみ</sup>さまからも「あわれみ」を<sup>い</sup>ただけるのです。

じゃあ、<sup>じっさい</sup>実際にどんなことが「あわれみ」なのでしょう？たとえば、①人<sup>ひと</sup>の必要<sup>ひつよう</sup>に<sup>こた</sup>こた<sup>こま</sup>へ<sup>ひと</sup>に<sup>たす</sup>助<sup>たす</sup>けてあげること。②ほかの人<sup>ひと</sup>を<sup>ゆる</sup>赦<sup>ゆる</sup>すこと、だれかがあなた<sup>たい</sup>に対していやなことをしても<sup>ゆる</sup>赦<sup>ゆる</sup>してあげること。③苦し<sup>くる</sup>んでいる人<sup>ひと</sup>を<sup>おも</sup>思<sup>おも</sup>いやること、日本<sup>にほん</sup>や世界<sup>せかい</sup>の貧<sup>まず</sup>しい人<sup>ひと</sup>、苦し<sup>くる</sup>んでいる人<sup>ひと</sup>のために<sup>いの</sup>祈<sup>いの</sup>ったり、ささげたりすること。こういったことは、どれもイエスさまが喜<sup>よろこ</sup>んでくださることです。

その反対<sup>はんたい</sup>に、ほかの人<sup>ひと</sup>を「クズ」とか「カス」、「いらない」「使<sup>つか</sup>えない」と思<sup>おも</sup>ったりすることは、神<sup>かみ</sup>さまが悲<sup>かな</sup>しまれることです。知らんぷり<sup>し</sup>をしてしまうことも、そうです。神<sup>かみ</sup>さまはどんな人<sup>ひと</sup>でも<sup>あい</sup>愛<sup>あい</sup>してくださって、大切<sup>たいせつ</sup>に思<sup>おも</sup>ってくださっています。だから神<sup>かみ</sup>さまがあなたに<sup>かみ</sup>くださった「あわれみ」を<sup>わす</sup>れな<sup>わ</sup>いで、みんなに<sup>わ</sup>分け<sup>あた</sup>与<sup>あた</sup>える人<sup>ひと</sup>になりましょう！

◆お祈り

「神<sup>かみ</sup>さまがくださった『あわれみ』をありがとうございます。この『あわれみ』を、ほかの人<sup>ひと</sup>にも<sup>あた</sup>与<sup>あた</sup>えられるように助<sup>たす</sup>けてください。」  
(戸坂聖書教会牧師 松原洋満)

